

2015年1月の供給レポート

北米産丸太、2か月連続で上昇 — 12月対日価格



北米産丸太の対日価格が2か月連続で上昇しました。前月比2%高くなっています。

米国の住宅需要が堅調で木材の不足感が強く、対日価格に波及しました。

日本国内の木材需要は低迷しています。国内の製材業者は一部製品を値上げし、梁用米松材は、前月に比べ2%高くなっています。

(2014年12月10日 日本経済新聞記事から抜粋)

国産丸太の上昇一服 — 取引価格

住宅需要減少長引く



住宅の柱の原料である国産丸太の取引価格の上昇が一服しました。

11月の平均価格は、杉が前月比2%安く、4か月ぶりに値下がりしました。桧は前月から横ばい。台風などによる伐採作業の停滞で出荷が抑えられ、夏場から秋にかけて丸太価格が上昇していました。

(2014年12月13日 日本経済新聞記事から抜粋)

加工材の生産能力倍増 — 高柴林業

住宅向け、倉庫も新設



住宅用プレカット材の高柴林業（兵庫県豊岡市）は、木材の加工能力を倍増します。

高柴林業は、兵庫県森林林業技術センター（宍粟市）が特許出願した木材の切り口の強度を従来の3倍に高める技術を出願段階でも利用できる仮通常実施権を取得済み。

(2014年12月13日 日本経済新聞記事から抜粋)

給湯器の音で不眠 — 「エコキュート」巡り指摘 消費者事故調



消費者安全調査委員会は、ヒートポンプ式給湯器「エコキュート」から出る音が原因で不眠になったとする調査申し出について、「運転音が健康症状の発生に関与していると考えられる」などとする報告書を公表しました。調査対象は健康被害を訴える19件。

業界団体の手引きでは、寝室や窓から極力距離を取って設置するよう促しています。

(2014年12月20日 日本経済新聞記事から抜粋)

海外で評価高い和室 — 和の住まいリレーシンポ



大阪府地域産材活用フォーラム主催で「和の住まい推進リレーシンポジウム in おおさか」を開催。国交省・経産省・林野庁が国サイドの施策を紹介。和室をJAPANブランドだと指摘し、「ユネスコから無形文化遺産に指定された和食と同様に、海外では高い評価を受けている。その評価を逆輸入して日本でもう一度和室を流行させたい」と話しました。

(2014年12月20日 東洋木材新聞記事から抜粋)